

平成24年度植物友の会活動記録

平井健一郎

はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人達の集まりで、植物公園を活動の場として植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和54年10月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額2,000円、家族会員が年額3,000円、企業等の賛助会員が年額5,000円となっている。10月1日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて（賛助会員は除く）、今年度10月以降の入会はなかった。

平成25年1月現在、会員数は個人会員が141（+20）人、家族会員が23（+5）組56（+14）人、企業等の賛助会員が12（+2）団体である。（ ）内は昨年度からの増減会員数。

活動（表1・2・3）

(1) 例会・運営委員会

2ヶ月に1回、植物公園で開催する。内容は、近年では季節ごとに園内の見頃の植物を観察する園内観察会（写真1）を、参加者に好評であることから頻繁にプログラムに組み込んでいる。講師はガイドボランティアへも登録されている運営委員に務めていただいた。ルートにはあずまや近くや展望塔・日本庭園まで含まれ、非常に広範な区域を観察することができた。また、植物に関してのスライド（野外観察会報告・海外植物観察報告）や例会会場である講堂入口付近において会員同士で余剰苗の種苗交換なども実施された。



写真1. 第4回例会園内観察会

また、毎例会の開催前後に運営委員会を開催した。例会前開催の同委員会では、例会での連絡事項・内容について打ち合わせを行い、それらの決定事項からプログラムを作成・印刷・頒布した。例会後には今後の事業の執行計画や予算、会の運営などについて毎回検討・協議した。

今年度第2回例会時、長年運営委員として御協力いただいた益田昭子氏から高杉義紘氏と交代したい旨の申出があり、外の運営委員の了承の下、益田氏に代わり高杉氏が新たに運営委員へ就任した。

(2) 講習会（年2回）

9月の例会前に開催する友の会作品展への出品作品の振興を図るため、8月に第1回の講習会として中島十三子氏を講師として『香るハスの実のクラフト』（写真2）、第2回講習会として藤井かおり・白井まり子両氏を世話役に『オオオニバスの草木染』（写真3）を開催した。

第2回は、一昨年、昨年に続き会員に人気のある「草木染」とし、材料は講習会開催に先立ち開催されたオオオニバス試乗体験会後のオオオニバスの葉を用いた。講習会で頻繁に開催す



写真2. 第1回講習会「香るハスの実のクラフト」

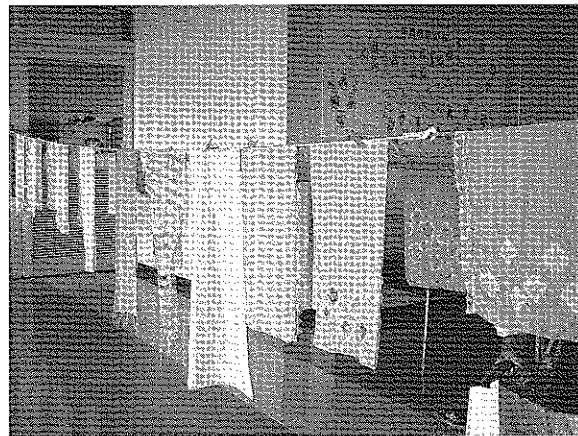


写真3. 第2回講習会「草木染～オオオニバス」水洗い後、日かげ干し（13）

る草木染の手順を、この度、御参加いただけない会員への情報提供として、会誌「はなの輪冬号第133号」トピックスコーナーに書き留めていただいた。後日例会時の運営委員会においても、入会促進を広報する一手段として、'植物公園らしい'、'植物公園だができる'材料を使った草木染のイベントを開催してはどうか、という意見も提案された。友の会入会を広報する一手段として、友の会草木染講習会を会員に加え、会員外へも広報し御参加いただく、あるいはグリーンフェアや開園記念日等イベント時に現在はクラフトを主に開催する講習会を草木染でも開催の検討をしてみる必要がある。

また、ガイドボランティアにより園内の見どころを案内する『季節の花さんぽ』を、今年度から例年友の会のイベントが開催されない月に、入園料無料となるよう友の会講習会のひとつとして組み入れ、来園の機会を増やすよう計画したが、参加者は各回4～6名と振るわなかった。例会・野外観察会外の従来から開催しているイベントと異なり、特に会員に通知せず、周知を図らなかったこともその一因と考えられる。今年は年間計画を「はなの輪」の原稿として組み入れず、掲示しやすいようA3版の別色紙とし、7月の例会通知と共に会員に発送した。

(3) 観察会

例年年2回春と秋に、広島大学の先生方を講師に、日帰り近郊の野山の観察を実施してきたが、昨年より現地集合・解散する第3回野外観察会を開催している。

第1回・第2回の観察会はいずれも山口県下関市の『角島』で開催した。参加者はいずれも29名。集合時間も第1回は7時30分、第2回は春の経験も踏まえて8:00と遅くした。今年度参加者はいずれも失念されることなく集合時間までには集合され、角島灯台へ出発することができた。毎回往復はがきによる参加通知(返信)と観察会催行の時間に関きがあり、失念による不参加が目立つことから、今年度秋の観察会への参加受付は、申し込みはがきを投函した段階で「参加するもの」とし、返信については、参加が多く定員いっぱいになりキャンセル待ちに該当する方には「参加申し込み受け取り後直ちに送付」、参加の方には「催行間際に送付」することとした。また、今年度は該当はなかったが、既に以前からキャンセル待ちに該当する方には、

何人目のキャンセル待ちであるか明示し、キャンセル待ちするか否か事務局まで連絡していただくことにしている。

角島では、マサキやハマビワ、オニヤブソテツ、ハスノハカズラ、ツルナ、スイカズラ、ネコノシタ、スイカズラ、ハマユウ等海浜植物を観察した(写真4)。第2回の秋の観察会では、年間計画を立てる段階ではダルマガクの観察を予定していたが、未だ開花に至らず、道路事情も大型バスの進入が難しい幅員のため、自生場所の牧崎風の公園の観察は断念した。いずれの観察会でも角島灯台周辺を中心に、しおかぜの里角島の対岸を観察した。また秋の観察会では、春には工程になかった海士ヶ瀬公園とつのしま自然館に立ち寄った。つのしま自然館では、特に訪問する旨を伝えていなかったにも関わらず、自然館職員の方がツノシマクジラ等角島について解説していただいた(写真5)。

第3回の観察会では、交通費は各自実費負担であること、講師謝礼等の経費も発生しないようボランティアに講師を依頼することから、参加費は徴収していない。今年度は第3回野外観察会



写真4. 第1回野外観察会



写真5. 第2回野外観察会

を始めて2回目の開催で、12名の参加があった。講師は、元宇品が地元でもある運営委員の柴田氏に務めていただいた。参加者は第1・2回観察会への参加されていた会員のみならず、初めて観察会でお会いする会員も見られた。行程も元宇品の海岸周りの原生林の林縁から林内のツチトリモチを観察した。昼には終着点である宇品灯台に到着・解散となった(写真6)。



写真6. 第3回野外観察会～元宇品

(4) 展示会

年1回秋に、鉢物(山草部会員等)、写真、クラフトなどを出品し、友の会作品展として開催している。平成24年度は山野草、草木染(第2回講習会作品含む)、クラフト(木の実のクラフト・第1回講習会作品(香るハスの実)含む)等の出品があった(写真7)。印刷物の展示では、今年度4月に山歩クラブが友の会から分離・独立したため、山歩クラブの会報紙の展示はなく、友の会会誌『はなの輪』のバックナンバーの展示のみであった。

また山草部会においては、5月の例会に合わせてその前日の土曜日と当日日曜日に鉢物を中心にロビー展を開催した(写真8)。

(5) 園内ボランティア

植物公園において、栽培・管理作業の補助、チョウ・野鳥観察、小学校自然体験教室やイベントでの友の会コーナーにおけるクラフト講習会の補助・指導・販売、会誌の発送作業などを実施した(表2)。秋のグリーンフェアでは10月7・8日のキッズコーナーの補助や10月13・14日の友の会コーナーのクラフト教室では、材料代を羊100円、クリスマスツリー300円を徴収した。また、小学校の自然体験学習として木の実を使ったクラフト作り(羊)を制作・指導し(写真9)、

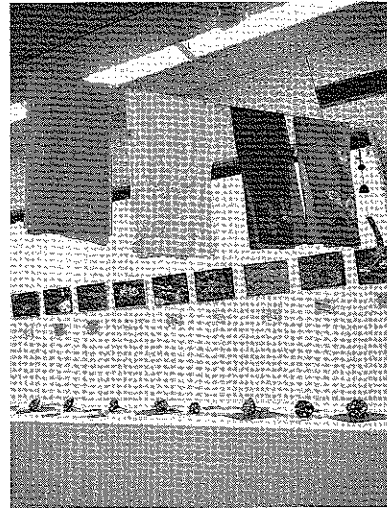


写真7. 作品展写真・ハスの実のクラフト・草木染

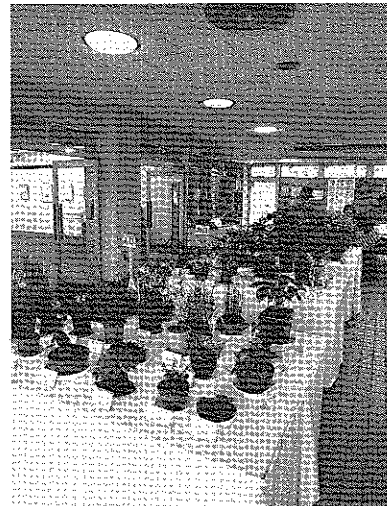


写真8. 山草部会ロビー展

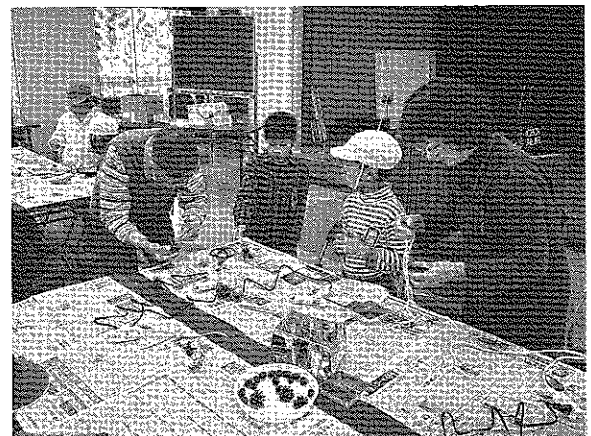


写真9. 自然体験学習クラフト指導

植物公園の業務に大きく貢献した。

年間6回以上管理ボランティア活動に参加している会員に管理ボランティア登録証を発行し、登録証提示により、駐車料・入園料免除等の特典を付帯している。平成24年度は19名が管理ボランティアとして登録されている。

(6) 会誌の発行

会員が撮影した写真を用いた表紙に、植物に関する話題や会の活動、植物の栽培方法などを載せた会誌「はなの輪」を年4回発行、会員に配布している。新入会員には前年度一年度分4冊と当年度分の会誌のバックナンバーを贈呈した。

今年度は6月に発送する夏号の編集の都合で、今年の事業計画と6月～9月の催し物案内の掲載が叶わなかったことから、A3のライトブルーの色紙の両面に印刷した。色紙であることや、壁等に簡易に張り出すことができるため、こちらの方が目立って良いように思われる。

(7) 部会

友の会の部会は山歩クラブと山草部会があったが、山歩クラブについては、平成24年4月より友の会から独立し、植物友の会会員でなくても入会可能となった。

山草部会は、年2回野外観察会や展示会、2ヶ月に1回友の会例会前午前中に例会を開いている。会費は年額1,000円である。栽培・育成した苗物の販売等臨時売店も展示会や例会で開いている。

(8) 友の会花壇

園芸作業の講習を実際に体験でき、会員相互の交流が進み、友の会が魅力ある組織となっていくことを目的として、展示資料館横の花壇を平成17年度より友の会が管理することとなっている。

2012年は3月と4月に会員2人により、12月に会員一人により花壇の手入れを行った。各作業内容は表3に記す。

上記のような目的で設営したにも関わらず、なかなか会員の自発的な交流や協力しての作業の取り組みが見られない。ボランティア活動等で植物公園のイベントへの係わりが煩雑になっており、花壇整備も間々ならないが、今後花壇整備・改修に積極的な事務局からの呼びかけが必要と思われる。

表1. 平成24年度植物友の会 事業執行報告

月 日	事務事業	場 所	内 容		備 考
平成24年 4月11日(水) 13時～	例会①等の 案内発送	植物公園 小会議室	例会①・花さんば①案内 観察会①参加者募集 〆切5/10(木) 講習会①参加募集 〆切5/10(木) 運営委員会開催案内 会員証配布 前会員で未加入の方へ再通知送付		職員 会員
4月28日(土) 13時～14時	花さんば①	植物公園内	季節の花さんば(菊桜と山野草)		会員(ガイドボランティアも兼ねる会員を含む) 6名
5月4日(金・祝)	講習会ボラ ンティア	大温室前広場	みどりの日 記念行事	クラフト教室、活動紹介	会員 5名
5月11日(金) 9時30分～12時	山草部会 展示準備	展示資料館 ロビー	山草部会展示物搬入		職員 1名 部会員
5月12日(土) ～13日(日)	山草部会展 示	展示資料館 ロビー	山草部会展示		部会員 9名
5月13日(日) 13時20分～15時	例会①	植物公園講堂及び 屋外	園内植物観察 (参考:H23=園内植物観察)		職員 1名 会員 54名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 1名 運営委員 6名
5月2日(水)	観察会①事 前下見	山口県角島	海浜植物の観察		山口富美夫氏 (広大大学院) 職員 3名
5月26日(土) (仮)	観察会①				山口富美夫氏 (広大大学院) 職員 3名 会員 29名
6月23日(土) 13時～14時	花さんば②	植物公園内	季節の花さんば(ハナショウブと樹木の花めぐり)		会員(ガイドボランティアも兼ねる会員を含む) 4名
7月3日(火) 9時～	はなの輪131 号及び例会 ②等の案内 発送	植物公園 小会議室	はなの輪第131号 例会②・花さんば③案内 講習会①②参加募集 植物友の会作品展出品申し込み案内 運営委員会開催案内		職員 3名 会員 3名
7月8日(日) 13時20分～15時	例会②	植物公園講堂	春の野外観察会 報告 園芸作業及び園内植物観察 (参考:H23=スライド「春の野外観察会 ～赤名湿 地～」園芸作業及び園内植物観察)		職員 4名 会員 55名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 6名
8月25日(土) 10時～12時	講習会①	植物公園講堂	「クラフト ハスの実のクラフト」		中島十三子氏 職員 1名 会員 7名
8月25日(土) 13時～14時	花さんば③	植物公園内	季節の花さんば(サギソウと涼しい温室めぐり)		会員(ガイドボランティアも兼ねる会員を含む) 4名
8月27日(月) 10時～12時	講習会②の 準備	植物公園講堂	「草木染めの準備 オオオニバス」		会員 4名
8月28日(火) 10時～12時	講習会②	植物公園講堂	「草木染め オオオニバス」		藤井氏・白井氏 会員 12名
9月1日(土) 9時～	はなの輪132 号及び例会 ③等の案内 発送	植物公園 小会議室	はなの輪第132号 例会③・花さんば④案内 観察会②参加者募集 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 4名
9月3日(月)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展搬入		職員 1名 会員 7名
9月4日(火)～9 日(日)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展		会員 24名
9月9日(日) 13時20分～15時	例会③	植物公園講堂	秋の園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 36名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 6名
9月18日(火)	観察会②事 前調査	山口県角島	海浜植物の観察		中坪孝之氏 (広大大学院)、 職員 3名
9月27日(木)	観察会②				中坪孝之氏 (広大大学院)、 職員 3名 会員 29名

10月13日(土) ～14日(日)	講習会ボランティア	大温室前広場	秋のグリーンフェア	クラフト	会員 6名 5名 5名
11月3日(土・祝)			開園記念日	クラフト	
10月27日(土) 13時～14時	花さんぽ④	植物公園内	季節の花さんぽ(秋のバラと晩秋の花)		会員(ガイドボランティアも兼ねる会員を含む)
10月31日(水) 9時～	はなの輪133号及び例会④等の案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪133号 例会④案内 観察会③参加者募集 運営委員会案内		職員 1名 会員 3名
11月11日(日) 13時20分～15時	例会④	植物公園講堂及び 屋外	園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 32名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について 平成25年度事業計画検討		職員 2名 運営委員 6名
12月11日(火) 10時～	観察会③	元宇品	元宇品のツチトリモチと原生林の観察(現地集合・ 現地解散)		講師 柴田氏 職員 2名 会員 12名
12月26日(水) 13時～	例会⑤等の 案内発送	植物公園	例会⑤・花さんぽ⑤案内(年賀状)		職員 1名
12月27日(木)		園芸相談室	運営委員会開催案内		
平成25年 1月13日(日) 13時20分～15時	例会⑤	植物公園講堂	講演会 「グアテマラ・ジャングルトレッキング」 園内植物観察		職員 2名 会員 42名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について 平成24年度事業報告及び決算書案作成 平成25年度事業計画案作成		職員 2名 運営委員 6名
2月23日(土) 13時～14時	花さんぽ⑤	植物公園内	季節の花さんぽ(マンサクと早春の花)		会員(ガイドボランティアも兼ねる会員を含む)
2月26日(火) 10時～	監査	植物公園園芸相談室	平成24年度決算		職員 1名 監事 2名
2月27日(水) 9時～	はなの輪第 134号及び例 会⑥等の案 内発送	植物公園小会議室	はなの輪第134号 例会⑥案内 総会開催案内 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 4名
3月3日(日) 13時20分～15時	例会⑥	植物公園講堂及び 屋外	総会 春の園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 55名
9時～10時	運営委員会	植物公園 小会議室	総会提出議案等		職員 2名 運営委員 6名

④ガイドボランティアの「季節の花さんぽ」を園内植物観察として偶数月に実施(年5回)

表2. 会誌「はなの輪」の発行

平成24年6月	2012通巻131号	平成24年8月	2012通巻132号
平成24年10月	2012通巻133号	平成25年2月	2013通巻134号

表3. 平成24年度植物友の会 ボランティア活動報告(平成24年4月～12月)

月日	内 容	参加人数
4月	サクラソウ管理、例会通知発送、クラフト準備、チョウ外観察、アジサイ管理、友の会花壇整備	48名
5月	チョウ外観察、アジサイ管理、ペゴニア温室、草花栽培管理、友の会山草部会ロビー展示設 営・搬入	50名
6月	グリーンフェア会議、アジサイ管理、ハナショウブ調査、チョウ外観察、クラフト材料処理	28名
7月	例会通知等発送作業、アジサイ管理、草花等管理、ハナショウブ調査	25名
8月	草花等管理、草木染講習会準備、チョウ外観察	28名
9月	アジサイ管理、チョウ外観察、草花管理、友の会作品展準備、例会通知等発送作業	38名
10月	例会通知等発送作業、グリーンフェアクラフト教室・友の会コーナー外、自然体験学習クラ フト制作指導、育苗・食堂前花壇等草花管理、キク展手伝い、アジサイ管理 等	59名
11月	開園記念日クラフト準備・制作指導、クリスマス飾るフラワー展クラフト準備・制作・飾 付、夜間開園キャンドル着火、ハンギングバスケット製作、野鳥外観察	45名
12月	野鳥観察、友の会花壇整備	11名
	計	332名